

# AIOS 銀座 協立建築設計事務所



大内達史

協立建築設計事務所代表取締役

1943年 北海道生まれ  
 日本大学理工学部建築学科卒業  
 1967年 協立建築設計事務所入社  
 1998年 代表取締役役に就任  
 東京都建築士事務所協会会長  
 桜門工業クラブ理事長  
 日事連副会長  
 日本建築家協会中央地域会顧問

風格のある洋館スタイル=銀座の伝統的スタイル

時代と共に変わる街並みの中に脈々と受け継がれるものをデザインに取り入れる



表面的な賑わいや超高層ビル群のスケールアウトした景観からは、幾分距離を置き、あくまでもヒューマンスケールを考慮した佇まい (silent Existence)



資料提供：  
 中央区立京橋図書館所蔵/和光 (旧服部時計店)・松坂屋・松屋・三越  
 ギンザのサエグサ 文化事業室/昭和8年頃の銀座通り



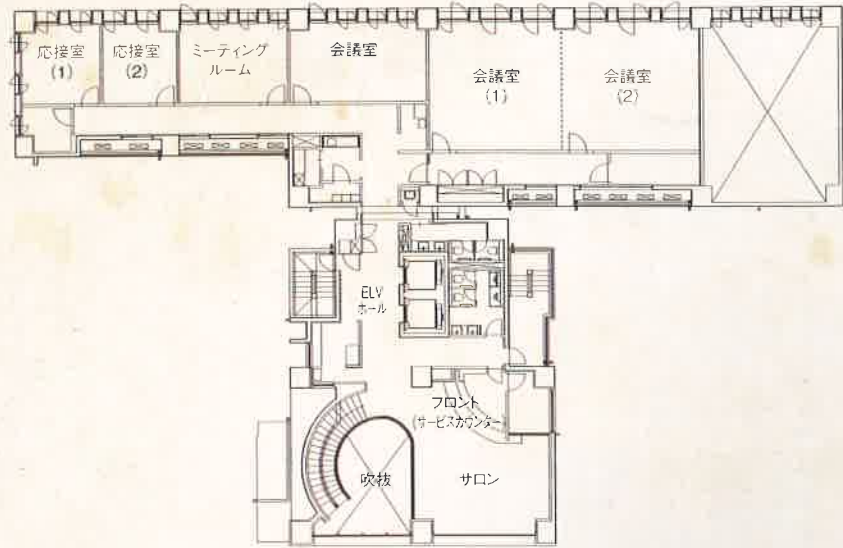
北側ファサード——3層構成の外観は、静かな表情を出しつつ街並みに対して、ヴォリューム感の軽減を計る。

ねる。関東大震災後にはデパートが進出し街にぎわいをもたらした。現在でも最先端のショップが建ち並び、文化や流行の発信地となっている。

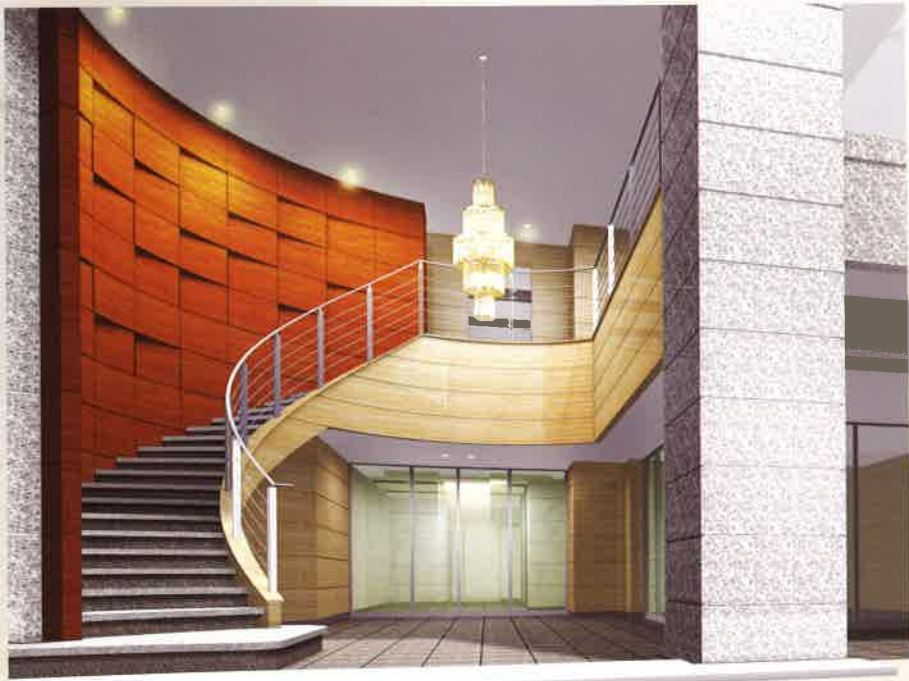
アイオス銀座は、洋館風のファサードで、時代と共に変わる街並みの中に脈々と受け継がれるものをデザインに取り入れた。表面的な賑わいや超高層ビル群のスケールアウトした景観からは、幾分距離を置いて、あくまでもヒューマンスケールな佇まいとしている。

銀座の伝統的なスタイルは、風格のある洋館スタイルである。江戸の大火を教訓に耐火性を重視し、煉瓦を利用した西欧風の洋館スタイルが定着した。以来、銀座には近代建築の博物館のごとく新しい技術による建築が建ち並び、古くから文化人の集うサロンやカフェやギャラリーが軒をつら





2階サロン  
吹き抜きの階段を上ると、彫刻家宮下芳子氏作 石のレリーフ『アダムとイブ』が目に入る。アートがいつも身近に存在し、アートによって豊かさやとろろを感じる空間とした。



1階エントランスホール  
2階吹き抜きのエントランスホールは、入居者のINとOUTの場面転換を見事に演出した。また、アクセントカラーを用いた円形の壁が場を包み込むような効果を持ち、ビジネスへの期待感を感じさせる空間とした。



南側ファサード—3層構成のファサードに加えて、2階吹き抜きのエントランスが周辺の街並みとの連続性を計る。